

事務事業名		建設工事検査事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	行政経営部	担当課	契約検査課	
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり						担当係	検査係	担当課長名	土澤正道		
	施策	1 効率的な行政経営の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 効率的・効果的な事務事業の推進と組織編成						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	330	一般	2	1	1	建設工事検査事務	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度	～	年度	根拠法令 条例等	実施方法	直営					
						佐野市財務規則	事業分類	検査・調査事務					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
・各課で執行している工事が適正・適切に履行されたかを確認するため、検査(出来高部分検査・中間検査・完成検査)を実施する。『佐野市が発注する工事(請負契約金額130万円を超える工事)の工事出来高部分完成および工事完成時に出来形、品質並びに施工状況を検査し工事の可否を判定する。』			・平成25年度繰越工事を含む平成26年度に206件(出来形部分検査を含む)の検査を行った。 ・上記の工事のうち、203件の完成検査については、工事の成績評価を行った。 ・施工体制台帳の義務化に伴い工事書類の簡素化等の見直しを行い、平成27年4月から運用を開始する。								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			検査を実施した件数(当該年度)	件	190	206	200				
			検査対象となる工事発注課	課	9	10	11				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・平成25年度の繰越工事を含む平成26年度に完成した工事。 (請負契約金額130万円を超える工事)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			検査(完成)対象工事数(当該工事)	件	188	203	200				
			検査を実施した工事発注課	課	9	9	11				
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
・完成した工事が適正に施工され、出来形、出来ばえ、品質など契約に基づく給付の完了を確認する。 ・適正な歳出を図り、品質に起因する耐用年数の延命を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			適正な施工、出来形等が確保された工事件数	件	190	206	200				
			検査実施期日までに実行できなかった件数	件	0	0	0				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
総合計画に基づいた効率的・効果的な事務事業の執行を推進するとともに、それに向けた組織編成がなされる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
			休廃止した事務事業数	事業	130	89	115	110	105		
			見直しの図られた事務事業数	事業	465	498	595	590	585		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	2,236	1,207	62							
	事業費計(A)	千円	2,236	1,207	62	0	0					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	50	消耗品費	58	消耗品費	59				
			臨時嘱託員報酬	1,870	臨時嘱託員報酬	992	食糧費	3				
臨時嘱託員社会保険料			316	臨時嘱託員社会保険料	157							
人件費	人	2	2	2								
のべ業務時間	時間	3,528	3,528	3,528								
人件費計(B)	千円	13,727	13,904	13,904	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,963	15,111	13,966	0	0						

事務事業名	建設工事検査事務	担当部	行政経営部	担当課	契約検査課	担当係	検査係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・佐野市財務規則を前提とした、建設工事の履行の確保。 ・昭和55年12月の市議会本会議における100条委員会をきっかけに、昭和56年4月より入札・契約・検査の一元化管理となる。(監理室設置、平成16年度から契約検査課に変更)
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・昭和55年度以前は発注課で検査を行っていた。 ・工事検査件数の変化 平成19年度180件、平成20年度190件、平成21年度205件、平成22年度169件、平成23年度186件、平成24年度193件、平成25年度190件、平成26年度206件
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・具体的な指摘等はない。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・各課が所管する発注した工事の検査を本課で実施することは、効率的・効果的な事務事業執行に結びつく。 ・検査実施により目的物の適正を確認することで、適正な行財政運営の推進が図れる。 ・健全な目的物確保によるランニングコストの軽減で健全な財政運営が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・完成した工事が適正に施工され、出来形、出来ばえ、品質などの契約に基づく給付の完了を確認することは、発注者(市)の責務である。 ・工事目的物は、市および市民の財産であり、その品質や性能等が適正なものか検査することは、市が発注意図を十分に理解したうえで市の責任において、実施することが妥当であり望ましい。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・本事務事業において、市(契約検査課)が入札するすべての工事の検査を実施している。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・本事務事業は工事完成時等において、適正・適切な工事の施工管理並びに出来形、品質等を法令、要綱、要領に基づき実施している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・工事完成検査等は、工事が適正かつ適切に施工され、出来形、出来ばえ、品質などの完了を確認するものであり、その検査方法、基準については要綱や要領、各工種における検査基準、さらには品確法などの法令施行により強化されており、適切な対応を実施するためには、検査職員の確保や検査時間がさらに必要となる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・内部事務なので受益者負担はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		・法令、規則の改正により検査が不要となる。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<p>廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	